

総務企画部総務課長
山住 哲司 様

生活福祉部健康づくり推進課長 沖村 智

会 議 要 録

名 称	平成 31 年度(令和元年度)第 1 回西予市健康づくり推進協議会	
事 務 局	西予市生活福祉部 健康づくり推進課	
	電 話 0894-62-6407	
	F A X 0894-62-6564	
開 催 日 時	令和元年 7 月 17 日(水) 15 : 00 ~ 16 : 45	
開 催 場 所	西予市役所 5 階大会議室 1. 2. 3	
出席者	委 員	西予市医師会長 井関満永・八幡浜保健所長竹内豊・西予市議会厚生常任委員長 源正樹・西予市民生児童委員協議会長 河野秀雄・西予市社会福祉協議会長 河野敏雅・西予市校長会長上甲和也・西予市老人クラブ連合会長 濱田正明・西予市連合婦人会福祉部長 河野千鶴子・西予市食生活改善推進協議会長 井上次恵・教育部生涯学習課長 竹内克之・保健推進員代表 (宇和)井関由美(明浜)西村初美、(野村)兵頭俊子、(城川)楠野峰子、(三瓶)山下栄子 総計 15 名 欠席 東宇和歯科医師会会長 片山貴夫
	その他事務局	生活福祉部長 藤井兼人、生活福祉部健康づくり推進課長 沖村智、明浜支所生活福祉課長 三好忠利・野村支所生活福祉課長 森本美重、城川支所生活福祉課長代理 赤松美保、三瓶支所生活福祉課長 井上又文、健康づくり推進課 課長補佐 井上理恵、保健師長 佐々木靖子、健康推進係長 二宮真紀・健康推進係 管理栄養士 松田美加子・保健予防係長 土居靖史・保健予防係主任保健師 山本晶子・八幡浜保健所健康増進課健康づくり推進係長 富谷純子

議事内容(要旨)

1. 開会 事務局
2. 会長あいさつ
3. 内容
 - (1) 保健、福祉関連組織と推進体制について
別添資料
説明 健康づくり推進課：沖村課長
 - (2) 平成 31 年度(令和元年度)の重点推進事業計画及び進捗状況について
 - 【1】 老成人保健事業 資料 P1
説明 健康づくり推進課：佐々木師長
 - 【2】 母子保健事業 資料 P2
説明 保健予防係：山本晶子主任
 - 【3】 精神保健事業 資料 P3
説明 健康推進係：二宮係長
 - 【4】 予防接種事業 資料 P4, P5
説明 保健予防係：土居係長
 - (3) その他
改正健康増進法における喫煙者対策について
資料：パワーポイント
県作成パンフレット
説明 健康推進係：二宮係長
健幸ポイント制度について
資料：西予市健幸ポイント事業 2019
 - (4) 質疑応答、その他意見交換
 - (会長) ○質問以外にも計画の普及や実施上の課題について、ポイントにみんな参加できるような工夫、委員より意見をいただく
 - (委員) 加熱式たばことはどんなものか？
 - (委員) 火をつけずに電池等の熱源でたばこの葉を熱する形である。色々な種類がある。
 - (委員) 煙やにおいはどんなか、害はどんなものか
 - (委員) タバコと加熱式たばこは、健康被害において差はなく害としては吸っている人にも呼吸器学会でも吸わない人にも害があるといわれている。さきほど事務局からも報告があったように、法律的にも紙たばこと同様の規制対象の取り扱いである。
換気扇を利用して、喫煙しても、同室の人の害は一緒である。
 - (委員) 健康ポイントを自分が参加すると 99 点取れる。ポイントの景品は胸ときめくような景品を望む。
周知について「回覧板」を回したぐらいではスルーするのではないか？

	<p>(委員) 健診の受診者の減少は、要精密となり人間ドックなど自分が医療機関に行っているのではないか。 たくさんの事業を実施していて、大変だと思う。 食生活にしても検診にしても、歯科にしても気を付ける人とそうでない人の差が開いている状況ではないか？関心がない人をどのような方法で、関心を向けるか？がこれからの問題。</p> <p>(委員) 予防接種(風疹)の接種率は、目標は90%。 なかなか目標達成はむずかしい。健康に気遣う自分の経験があって関心がでてくる時期でもある。 風疹の予防接種などに関心上がってくると全体も関心があがってくるかもしれない。</p> <p>(委員) 今まで出てきたような関心がある人とない人は旧町ごとに特徴はあるか？</p> <p>(事務局) 特定健診の受診率でいえば、西予の健康 p 22 野村は健診の受診率が高いが、高血圧の割合が高い。 西予市全体でいえば、糖尿病の割合が高い。 その原因は地域や食生活にあるのかは不明。 旧町の中でもさらに小さい地区でも分析していく必要がある。</p> <p>(事務局) どの地域が健康に関心をもっているかという分析で精神分野では、西予の健康 p 55 うつ病スクリーニングの結果をもって回答としたい。 昨年度の結果では、城川の回収率が高い。ついで野村、宇和、三瓶、明浜の順である。回収率は50%を超えていたら全国的には高いといわれる中、どの旧町地区も60%を超えていることをみれば、西予市は全体にも関心は高い方ではあるが、城川野村が特に高い。</p> <p>(委員) 学校教育の面からも、主軸は教育であると思う。 一番大切なことは基本的に正しい生活習慣を身に着けることだと思うが、そのためには家庭の教育、家庭の理解、家庭の協力が不可欠である。今回の協議会で聞いた様々な取り組みと学校教育がさらに連携をして取り組む必要性を感じている。 児童生徒に一番近い、両親祖父母などの身近な保護者の健康を願う。</p> <p>(委員) 高齢者の立場からの質問である。 認知症高齢者が増加していることを心配している。徘徊高齢者の問題。認知症の問題も多く保護しなくてはならない人も多いと感じる。 措置入院が昔はよくあった。それが最近減っているのではないか？現状でどれくらいあるかわかっていたら</p>
--	---

	<p>知りたい。</p> <p>(委員) 措置入院は、精神保健福祉上の法で決まった精神病が原因で(自傷他害で)入院が必要と保健所が判断した精神科専門医 2 名が診断した入院。 数字的には県で年間 20 件から 30 件の件数である。 10 年前より確かに減っているが、人権上の考え方で減少しているところもある。 対して、認知症の問題は「地域で見守る」ことが大切といわれており事故にならないように見守るということが重要であるので、精神科に入院するというよりは、見守り体制をみんなで作るということを考えていただきたい。</p> <p>(委員) 健康づくりで大切なのは、「健康は自分で守る」ということであり、それを自分は言い続けることで、自分の周りも健康に気を付けるという人が広がっている。医療や介護保険が高いという声も、いざというときは助けてくれるということを伝えている。</p> <p>(委員) 市民に対してできるだけわかりやすい周知に努めてほしい。</p> <p>(委員) 個人的なことであるが、人間ドックの内容に歯の健診はないので、歯周病疾患健診の取り組みは重要と思う。</p> <p>(委員) この協議会に参加して、たくさんの事業が開催されており計画があることを知った。委員ではないと回覧等にあっても目に留まらなかったと思う。 ポイント制なども、関心のあるなしに成功はかかってくると思うが、何事も雰囲気もりあがってくると事業も広がっていくと思う。 保健推進員として、このような事業の普及啓発にかかわらなくてはいけないなというジレンマを感じている。</p> <p>(委員) ポイント制申し込みはどこでできる？</p> <p>(委員) 資料参照：健康づくり推進課・各支所生活福祉課公民館と書いてある。</p> <p>(委員) 一人何回までできるのか？</p> <p>(事務局) 年度に 1 回だけ</p> <p>(委員) 予防接種のヒトパピローマウイルスはどのような病気の予防接種か？その予防接種は、必ず受けなくてはならないのか？</p> <p>(事務局) これは子宮の病気である。公費でお金は出るが、予防接種は任意である。</p> <p>(委員) 身の回りに引きこもっている人がいるということをよく聞く。自殺対策に真剣に取り組んでほしい</p>
--	--

	<p>自分の健康は自分で守るということで針灸マッサージの事業があると思うが、周りが事業を知らない人が多い。このような事業があるということは、どこを見たらわかるのか？周知につとめてほしい。</p> <p>(事務局) 長寿介護課の事業であり、全戸配布(2017)「ぎゅっとせいよ暮らしの便利帳」、地域包括支援センター作成「いきいき生活応援帳」(2018)にも掲載している。ホームページにもあるが、対象が非課税世帯となっているのですべての人が対象ではないため長寿介護課、各支所生活福祉課に問い合わせいただきたい。</p> <p>(委員) 自分は使っているが、他の人に「どこを見たらわかるのか聞かれる。</p> <p>(事務局) 長寿と連携をとり周知に努めるように伝える。</p> <p>(委員) 高血圧や高脂血症の治療中の方が、日常生活に気を付けて値が改善した場合、治療をやめることができるのか？</p> <p>(委員) やめることはできるといえるが、実際に値が下がったのは、薬が効いているためか、治っているのか、気を付けたためかわからない。かかりつけ医と相談しながら対応することが必要。</p> <p>一番困るのは、飲んだり飲まなかったりを自己判断されるケース</p> <p>(委員) 成人に対する予防接種もたくさんあるのだなと思った。アンテナを張っていくことが大切だと思った。</p> <p>(会長) 最後にまとめとして保健所長に意見を求める。</p> <p>(委員) 昨年度までは県庁で県の増進計画に関わってきた。西予市の委員会は非常によい会であったと思う。現在健康づくり分野は非常に多様化している。対象者も世代が違えば、インターネットで調べる人がいたり、回覧も見ない人もいたりする時代である。難しい時代であるともいえる。</p> <p>事業的には大きなホームランは出ない。小さなヒットを積み重ねていく時代だと思う。それがヒットなのかエラーなのかどうなのか判断するのは、指標(数字)である。よくなっているのかどう変化しているのか行政は一つ一つの数字を、市民にもわかりやすく分析し示すことが必要。</p> <p>老成人事業 地区別の受診率・対象者の把握 注目するものは高血圧なのか、何なのか？を地区別に分析していく。</p> <p>母子保健事業：歯の分野から生活のリズムは注目を集めている事業である。三歳児健診との比較は学会でも</p>
--	---

	<p>発表できるものではないか。</p> <p>精神保健福祉事業：自殺対策は継続して事業を実施し、個別を大事にしながら実施している。また、自分たちだけでなく大学の意見を聞きながらやっていることは県内の市町でも見習ってほしいところである。</p> <p>予防接種事業：本当にたくさんの種類を実施している。</p> <p>(会長) 70歳までは健康で働かなくてはいけない時代である。ますます健康でいるということが大事である。健診を受診するという行為も、自分で動くのは大変なことを感じる。生活が忙しいと健康は頭にあっても行動に移しにくい。ただ、何かのタイミングで健康に関心があるということになるので、そのタイミングを逃さないということも大切だと感じた。</p> <p>ホームランではなく地道なヒットを積み重ね、本日のご意見を踏まえながら今年度の事業に取り組んでいくことと思います。</p> <p>健康寿命の延伸という目的で委員の皆様も色々な方面から今後ともご協力いただくようお願いいたします。</p> <p>(事務局) 質問に対する追加回答</p> <p>健幸ポイント：回覧では目に留まらないのではないかと？健康格差が広がっていくのではないかと？</p> <p>⇒健幸ポイントのような事業を先にやっている市町での結果より何をきっかけに事業に参加したか⇒「ロコミ」</p> <p>色々な事業をやるうえでオリンピックのアンバサダーがブームであるように委員のみなさまもぜひこの活動を広げていくようご協力をくださいますようお願いいたします。</p> <p>8. 閉会あいさつ(副会長)</p>
<p>備 考</p>	<p>資料1部【平成31年度(令和元年度)第1回健康づくり推進協議会】</p> <p>資料1部【平成30年度保健事業実績 西予の健康】</p> <p>資料1部【西予市健幸ポイント事業】</p>